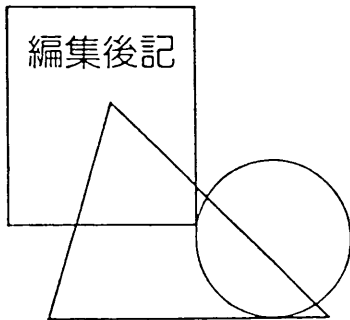


1月17日の阪神大震災以後、地下鉄サリン事件やさまざまな大事件が続発し、各地では今も地震が頻発しています。文字どおり足元が揺らぐような日々です。今年には戦後50年の記念すべき年ですが、天災はさておき、50年かかって作り上げた社会のタガが少し緩み、綻んできたのかもかもしれません。



5月末に神戸の病院図書室に資料整理のお手伝いに行きました。よく晴れた空に六甲山系の緑が美しく映え、世はすべてこともなしといった自然のたたずまいを見ていますと、あの災害がまったく非現実的なことのように思えます。書架が大破した病院図書室ではようやく復旧作業が始まったようです。

連休には中井久夫編『1995年1月・神戸—阪神大震災下の精神科医たち』を読みたいへん感動しました。被災地の方々の心の傷がゆっくりと、しかし確実に癒されることを願っています。

今号の主な記事は協議会設立20周年記念フォーラム、および阪神大震災の被災図書室からのレポートです。お忙しい中ご執筆くださった皆様にお礼申し上げます。

(首藤 佳子)

---

病院図書室 第15巻 第1・2号 季刊 1995年5月31日 発行

定価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒612 京都市伏見区深草向畑町1-1 国立京都病院図書室 気付

TEL (075) 641-9161 FAX (075) 643-4325

印刷所 (株)小西印刷所 〒663 西宮市今津西浜町2-60

TEL (0798) 35-1331 FAX (0798) 35-1333

---